

夢



73

アサフの賛歌

神・悪

悪・誇高 悪面 聖所

トウ

(高慢も者た)

天地

あざけり・天地

私

最後

- ・敵は聖所で滅びた
- ・詩人は神の近くにいることがはわれ。

マフー1まことに神は、イスラエルに、
心のきよい人たちに、いつくしみ深い。
2しかし、私自身は、この足がたわみそうで、
私の歩みは、すべるばかりだった。
3それは、私が誇り高ぶる者をわたし、
悪者の栄えるのを見たからである。
4彼らの死には、苦痛がなく、
5彼らのからだは、あぶらぎっているからだ。
6人々が苦勞するとき、彼らはそうではなく、
ほかの人のように打たれない。
7それゆえ、高慢が彼らの首飾りとなり、
暴虐の着物が彼らをおおっている。
8彼らの目は脂肪でふくらみ、
9心の思いはあふれ出る。
10彼らはあざけり、悪意をもって語り、
11高慢からしいたげを告げる。
12彼らはその口を天にすえ、
13その舌は地を行き巡る。
14それゆえ、その民は、ここに墮り、
15豊かな水は、彼らによって飲み干された。
16こうして彼らは言う。
17「どうして神が知ろうか。
18いと高き方に知識があるのか。」
19見よ、悪者とは、このようなものだ。
20彼らはいつまでも安らかで、富を増している。
21確かに私は、むなしく心をきよめ、
22手を洗って、きよくしたのだ。
23私は一日中打たれどおして、
24朝ごとに責められた。
25もしも私が、「このままを述べよう。」と言ったなら、
26確かに私は、あなたの子らの世代の者を
裏切ったことだろう。
27私は、これを知ろうと思ひ巡らしたが、
28それは、私の目には、苦役であった。
29私は、神の聖所にはいり、
30ついに、彼らの最後を信じた。

- ・いつくしみ深い
- ・はわれ (トウ)

「神の近くにいる」「私の避け所」

「神の聖所に入り」

- ・心のきよい人
- ・むなしく心をきよめた者

今榮えている悪者との対比

マフー1まことに、あなたは彼らをすべりやすい所に置き、
彼らを滅びに突き落とされます。
2まことに、彼らは、またたくまに滅ぼされ、
突然の恐怖で滅ぼし尽くされましよう。
3目ざめの夢のように、
4主よ、あなたは、奮い立つとき、
5彼らの姿をさげすまれましよう。
6私の心が苦しむ、
7私の内なる思いが突き刺されたとき、
8私は、愚かで、わきまえもなく、
9あなたの前で、獣のようでした。
10しかし私は絶えずあなたとともにいました。
11あなたは私の右の手を
しっかりとつかまえられました。
12あなたは、私をさとして導き、
13後には栄光のうちに受け入れてくださいましよう。
14天では、あなたのほかに、
15だれを持つことができません。
16地上では、あなたのほかに私はだれをも望みません。
17この身とこの心とは、尽き果てましよう。
18しかし神は、とこしえに私の心の岩、
19私の分の土地です。
20それゆえ、見よ。
21あなたから遠く離れている者は滅びます。
22あなたはあなたに不誠実な者をみな滅ぼされます。
23しかし私にとっては、
24神の近くにいることが、しあわせなのです。
25私は、神なる主を私の避け所とし、
26あなたのすべてのみわざを語り告げましよう。

- ・いと高き方に知識があるのか?
- ・天ではあなたに代わりますか?

・マフー：まことに

37.49

- ・栄光のうちに受け入れて下さる
- ・この世の高

滅

書27

(預言者)

神が滅ぼす。

御手のわざ / 救いのわざ

いつまでも

敵が滅ぼさる。

聖所を打ち砕く敵

いつまでも拒

74

アサフのマスキール

73 聖所 住い
74 廃墟 荒野

1 神よ。なぜ、いつまでも拒み、
あなたの牧場の羊に御怒りを燃やされるのですか。
2 どうか思い起こしてください。
昔あなたが買い取られた、あなたの会衆、
あなたがご自分のものである部族として
贖われた民を。

3 永遠の廢墟に、あなたの足を向けてください。
敵は聖所であらゆる害を加えています。

4 あなたに敵対する者どもは、
あなたの集会のただ中でほえたけり、
おのれらの目じるしを、しるしとして掲げ、
森の中で斧を振り上げるかのようです。

5 そうして今や、手斧と槌で、
聖所の彫り物をことごとく打ち砕き、
あなたの聖所に火を放ち、
あなたの御名の住まいを、その地まで汚しました。

6 彼らは心の中で、
「彼らを、いつまでも征服しよう。」と言い、
国中の神の集会所をみな、焼き払いました。
もう私たちのしるしは見られません。

7 もはや預言者もいません。
いつまでもそのようなかを知っている者も、
私たちの間にはいません。

8 神よ。いつまでも、仇はそしめるのでしょうか。
敵は、永久に御名を侮めるのでしょうか。
なぜ、あなたは御手を、右の御手を、
引つ込めておられるのですか。

9 その手をふところから出して
彼らを滅ぼし尽くしてください。
確かに、神は、昔から私の王、
地上のただ中で、救いのわざを行なわれる方です。

10 あなたは、御力をもって海を分け、
海の巨獣の頭を砕かれました。
あなたは、レビヤタンの頭を打ち砕き、
荒野の民のえじきとされました。

11 あなたは泉と谷を切り開き、
絶えず流れる川をからされました。
星はあなたのものの、夜もまたあなたのもの。
あなたは月と太陽とを備えられました。

12 あなたは地のすべての境を定め、
夏と冬とを造られました。

↓ 全世界をなばく王

滅ぼし尽

1-17
18-23

神の集会所：聖所

なぜ：御手x

心に留めておはし + せい

聖所
↓
⑦

民民 右の手で救う

御名

2.18.22

忘れぬ

(悩める者)

「御名を侮る」

侮 「御名をほめたてる」

立ち上る

x忘 + 心留

御名をほめたてる

#18-21 悩める者
#22-23 敵

神よ
主よ

後半：18-23

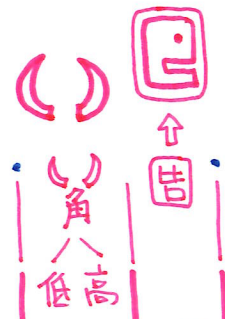
なぜ：神の牧場が荒れかへる？

18 主よ。どうか、心に留めてください。
敵がそしり、
愚かな民が御名を侮っていることを。
19 あなたの山鳩のいのちを
獣に引き渡さないでください。
あなたの悩む者たちのいのちを
永久に忘れないでください。
20 どうか、契約に目を留めてください。
地の暗い所には暴虐が横行していますから。
21 しいたげられる者が卑しめられて帰ることがなく、
悩む者、貧しい者が御名をほめたたえますように。
22 神よ。立ち上がり、
あなたの言い分を立ててください。
愚か者が一日中あなたをそしっていることを
心に留めてください。
23 あなたに敵対する者どもの声や、
あなたに立ち向かう者どもの絶えずあがる叫びを、
お忘れにならないでください。

御名

ほめたてる

書2007



10 悪者どもの角を、ことごとく切り捨てよう。
しかし、正しい者の角は、高く上げられる。

低高

といえども告げる。
奇いわざを語り告げる。

角

すばき

神は すばく ちである。

キ7 それは、神が、さばく方であり、
これを低くし、かれを高く上げられるからだ。
キ8 主の御手には、杯があり、神では隠されては
よく混ぜ合わされた、あわだつぶどう酒がある。
主が、これを注ぎ出されると、
この世の悪者どもは、こぞって、
そのかすまで飲んで、飲み干してしまふ。

低高



× 話

× 話

キ6 高く上げること、東からでもなく、
西からでもなく、荒野からでもない。
キ7 それは、神が、さばく方であり、
これを低くし、かれを高く上げられるからだ。
キ8 主の御手には、杯があり、神では隠されては
よく混ぜ合わされた、あわだつぶどう酒がある。
主が、これを注ぎ出されると、
この世の悪者どもは、こぞって、
そのかすまで飲んで、飲み干してしまふ。

・横柄な態度で語る

すばくち。
神の公正なすばき

- ・地の柱を堅く立てる。
- ・角を高く上げる。

すばき

公正に すばく

わざを語り告げる。

わざを語り告げる。

1 私たちは、あなたに感謝します。
神よ。私たちは感謝します。
御名は、近くにあり、
人々は、あなたの奇しいわざを語り告げます。
2 「わたしが、定めの時を決め、
わたしみずから公正にさばく。
3 地とこれに住むすべての者が揺らぐとき、
わたしは地の柱を堅く立てる。
4 わたしは、誇る者には、『誇るな。』と言い、
悪者には、
『角を上げるな。』
5 おまえたちの角を、高く上げるな。
6 横柄な態度で語るな。』と言う。
7 わたしは、誇る者には、『誇るな。』と言い、
悪者には、
『角を上げるな。』
8 わたしは、誇る者には、『誇るな。』と言い、
悪者には、
『角を上げるな。』
9 わたしは、誇る者には、『誇るな。』と言い、
悪者には、
『角を上げるな。』
10 わたしは、誇る者には、『誇るな。』と言い、
悪者には、
『角を上げるな。』

セラ

御名が近くにある。

75

指揮者のために。「滅ぼすな。」の調べに
合わせて。アサフの賛歌。歌

事書

賢者神前礼拝

神の御前に礼拝
地をさばく

地が恐れ震る

この世の勇士は眠る

神住神偉大表敬時

神の住まい

恐ろしい

恐るべき

ヤコブの神

眠り + 敵

威厳

戦いを打破く
コガ
イスラエル
シヤレム
シオン

神

76

指揮者のために。弦楽器によって。
アサフの賛歌。歌

- 1 神はユダにおいて知られ、
御名はイスラエルにおいて大きい。
- 2 神の仮庵はシヤレムにあり、
その住まいはシオンにある。
- 3 その所で神は弓につがえる火矢、盾と剣、
また戦いを打ち破かれた。
- 4 あなたは輝かしく、
えじきの山々にまさって威厳があります。
- 5 剛胆な者らは略奪に会い、
彼らは全く眠りこけました。
- 6 ヤコブの神よ。
あなたの、お叱りになると、
騎手も馬も、深い眠りに陥りました。
- 7 あなたは、あなたは、恐ろしい方。
あなたが怒られたら、だれが御前に立ちえましよう。
- 8 あなたの宣告が天から聞こえると、
地は恐れて、沈黙を守りました。
- 9 神が、さばきのために、
そして地上の貧しい者たちをみな、救うために、
立ち上がられたそのときに。
- 10 まことに、人の憤りまでもが、あなたをほめたたえ、
あなたは、憤りの余りまでも身に締められます。
- 11 あなたがたの神、主に、誓いを立て、それを果たせ。
主の回りにいる者はみな、恐るべき方に、
贈り物をささげよ。
- 12 主は君主たちのいのちを絶たれる。
地の王たちにとって、恐ろしい方。

地上の貧しい者たち：救われる。
地の王たち：さばかれる。

地の王たちは
天からの宣告を
聞く。

その所 = 住まい
仮庵

"ヤコブ"の神

「恐ろしい方」

44

← ← みわがを思い起している。
ぐたい的な内容

B
民 ↓ 民を導き出した

A
みわが
主を求めた。
↑
主のみわが
あなた の 道は矢

B
民
あなた
神/主
↓
民を導いた

A
みわが
前半? 後半?
主のみわがを思い起す

B
今
A
思い起す
拒
自分のたましいに問いかける。
主は拒まれる

A
拒
主に叫ぶ
霊の奏入る姿

77

指揮者のために。エドトンの調へによって。アサフの賛歌

苦難の日に助けを求めた。今もなっていない。

1 私は神に向かい声をあげて、叫ぶ。
2 苦難の日、私は主を求め、
3 私は神を思い起こして嘆き、
4 あなたは、私のまぶたを閉じさせない。
5 私は、昔の日々、遠い昔の年々を思い返した。
6 夜には私の歌を思い起こし、
7 「主は、いつまでも拒まれるのだろうか。
8 主の恵みは、永久に絶たれたのだろうか。
9 神は、いつくしみを忘れたのだろうか。
10 そのとき私は言った。
11 私は、主のみわがを思い起こそう。
12 私は、あなたのなさったすべてのことに
13 神よ。あなたの道は聖です。
14 あなたは奇しいわざを行なわれる神、
15 あなたは御腕をもって、ご自分の民、御腕
16 神よ。水はあなたを見たのです。
17 雲は水を注ぎ出し、雷雲は雷をとどろかし、
18 あなたの矢もまた、ひらめき飛びました。
19 あなたの道は海の中にあり、
20 あなたは、ご自分の民を、

水
ご自分の民

・ 神の道は聖
・ 神は大いなる神

水
ご自分の民

あなたの × 8

主のみわがを
思い起す。

手 & 腕
10, 15, 20 節

「たましい」に問いかける。
主の手を差し伸ばす。
13節から主のみわがの内容。

神様 > 拒む
たましい

→ たまいは慰めを拒んだ
→ 主は拒ばれる。

食物: マナと鳥

22-23

×情報

食物事件

詩篇 78. 18

逆

22 これは、彼らが神を信せず、
御救いに信頼しなかったからである。
23 しかし神は、上の雲に命じて天の戸を開き、
24 食物としてマナを、彼らの上に降らせ、
25 それで人々は御使いのパンを食べた。
26 神は、東風を天に起こし、
27 神は彼らの上に肉をちりのように、
28 それを宿営の中、住まいの回りに落とした。
29 そこで彼らは食べ、十分に満ち足りた。
こうして彼らの欲望を、かなえてくださった。

怒

×信

怒

忠実な民 / 忠実な神

逆

30 彼らがその欲望から離れず、
31 神の怒りは彼らに向かって燃え上がり、
32 このすべてのことにもかかわらず、
33 それで神は、彼らの日をひと息のうちに、
34 神が彼らを殺されると、彼らは神を求め、
35 立ち返って、神を切に求めた。
36 しかし神は、その口で神を欺き、
37 神の心は神に誠実でなく、
38 神の契約にも忠実でなかった。
39 神は、彼らが肉にすぎず、
40 吹去れば、返って来ない風であることを
心に留めてくださった。

21-23

63

契約に忠実

17 それなのに、彼らはなおも神に罪を犯し、
砂漠で、いと高き方に逆らった。

1-8は導入?

1-39は荒野?

12と43は同じ

戦いの日? 1つの出来事?

- 20 詩篇 78. 18 民 12. 10
- 21 詩篇 78. 19 民 12. 11
- 22 詩篇 78. 20 民 12. 12
- 23 詩篇 78. 21 民 12. 13
- 24 詩篇 78. 22 民 12. 14
- 25 詩篇 78. 23 民 12. 15
- 26 詩篇 78. 24 民 12. 16
- 27 詩篇 78. 25 民 12. 17
- 28 詩篇 78. 26 民 12. 18
- 29 詩篇 78. 27 民 12. 19
- 30 詩篇 78. 28 民 12. 20
- 31 詩篇 78. 29 民 12. 21
- 32 詩篇 78. 30 民 12. 22
- 33 詩篇 78. 31 民 12. 23
- 34 詩篇 78. 32 民 12. 24
- 35 詩篇 78. 33 民 12. 25
- 36 詩篇 78. 34 民 12. 26
- 37 詩篇 78. 35 民 12. 27
- 38 詩篇 78. 36 民 12. 28
- 39 詩篇 78. 37 民 12. 29
- 40 詩篇 78. 38 民 12. 30
- 41 詩篇 78. 39 民 12. 31
- 42 詩篇 78. 40 民 12. 32
- 43 詩篇 78. 41 民 12. 33
- 44 詩篇 78. 42 民 12. 34
- 45 詩篇 78. 43 民 12. 35
- 46 詩篇 78. 44 民 12. 36
- 47 詩篇 78. 45 民 12. 37
- 48 詩篇 78. 46 民 12. 38
- 49 詩篇 78. 47 民 12. 39
- 50 詩篇 78. 48 民 12. 40
- 51 詩篇 78. 49 民 12. 41
- 52 詩篇 78. 50 民 12. 42
- 53 詩篇 78. 51 民 12. 43
- 54 詩篇 78. 52 民 12. 44
- 55 詩篇 78. 53 民 12. 45
- 56 詩篇 78. 54 民 12. 46
- 57 詩篇 78. 55 民 12. 47
- 58 詩篇 78. 56 民 12. 48
- 59 詩篇 78. 57 民 12. 49
- 60 詩篇 78. 58 民 12. 50
- 61 詩篇 78. 59 民 12. 51
- 62 詩篇 78. 60 民 12. 52
- 63 詩篇 78. 61 民 12. 53
- 64 詩篇 78. 62 民 12. 54
- 65 詩篇 78. 63 民 12. 55
- 66 詩篇 78. 64 民 12. 56
- 67 詩篇 78. 65 民 12. 57
- 68 詩篇 78. 66 民 12. 58
- 69 詩篇 78. 67 民 12. 59
- 70 詩篇 78. 68 民 12. 60
- 71 詩篇 78. 69 民 12. 61
- 72 詩篇 78. 70 民 12. 62
- 73 詩篇 78. 71 民 12. 63
- 74 詩篇 78. 72 民 12. 64
- 75 詩篇 78. 73 民 12. 65
- 76 詩篇 78. 74 民 12. 66
- 77 詩篇 78. 75 民 12. 67
- 78 詩篇 78. 76 民 12. 68
- 79 詩篇 78. 77 民 12. 69
- 80 詩篇 78. 78 民 12. 70
- 81 詩篇 78. 79 民 12. 71
- 82 詩篇 78. 80 民 12. 72
- 83 詩篇 78. 81 民 12. 73
- 84 詩篇 78. 82 民 12. 74
- 85 詩篇 78. 83 民 12. 75
- 86 詩篇 78. 84 民 12. 76
- 87 詩篇 78. 85 民 12. 77
- 88 詩篇 78. 86 民 12. 78
- 89 詩篇 78. 87 民 12. 79
- 90 詩篇 78. 88 民 12. 80
- 91 詩篇 78. 89 民 12. 81
- 92 詩篇 78. 90 民 12. 82
- 93 詩篇 78. 91 民 12. 83
- 94 詩篇 78. 92 民 12. 84
- 95 詩篇 78. 93 民 12. 85
- 96 詩篇 78. 94 民 12. 86
- 97 詩篇 78. 95 民 12. 87
- 98 詩篇 78. 96 民 12. 88
- 99 詩篇 78. 97 民 12. 89
- 100 詩篇 78. 98 民 12. 90

・主のゆび ○ ・主の導き口
・忘れ 罪を犯す ×
・主の怒り △ ・立入る 6

主のゆびを語り上げる.

○口

詩篇 78. 17

先祖たち

78 アサフのマスکیل
あなたの小道は大水の中にありました。
それで、あなたの足跡を見た者はありません。
あなた、ご自分の民を、
モーセとアロンの手によって、
羊の群れのように導かれました。
1 私の民よ。私の教えを耳に入れ、
私の口のことはばに耳を傾けよ。
2 私は、口を開いて、たとえ話を語り、
昔からのわざを物語ろう。
3 それは、私たちが聞いて、知っていること、
私たちの先祖が語ってくれたこと。
4 それを私たちは彼らの子孫に隠さず、
後の時代に語り上げよう。
5 主への賛美と御力と、
主の行なわれた奇しいわざとを。
6 主はヤコブのうちにさとしを置き、
みおしえをイスラエルのうちに定め、
私たちの先祖たちに命じて、
これをその子らに教えるようにされた。
7 後の世代の者、生まれてくる子らが、これを知り、
彼らが興り、これをその子らにまた語り上げるため、
8 また先祖たちのように、
9 彼らが神に信頼し、神のみわざを忘れず、
その仰せを守るためである。

導海 ○

主のゆびを忘れた

10 エフライムの人々は、
矢をつがえて弓を射る者であったが、
11 戦いの日には退却した。
12 神は、神の契約を守らず、
13 神のおしえに従って歩むことを拒み、
14 神の教えのみわざと、
15 神が見せてくださった多くの奇しいこととを
忘れてしまった。
16 神は、彼らの先祖たちの前で、
エジプトの地、ツォアンの野で、
17 奇しいわざを行なわれた。
18 神は海を分けて彼らを通らせ、
19 せきのように水を立てられた。
20 神は、星は雲をもって、彼らを導き、
21 夜は、夜通し炎の光で彼らを導いた。
22 荒野では岩を割り、
23 深い水からのように豊かに飲ませられた。
24 また、岩から数々の流れを出し、
25 水を川のように流された。
26 それなのに、彼らはなおも神に罪を犯し、
砂漠で、いと高き方に逆らった。

△ いっまで

聖徒たちの血
らしまへ

怒
↓
御名

罪/咎 ×
↳ 御名のため

御名

？
—

Σ(1) と 血

4218

反对

ΣΥ

神よ。国々は、ご自身のものである地に侵入し、
あなたの聖なる宮をけがし、
エルサレムを廃墟としました。
2 彼らは、あなたのしもべたちのしかばねを
空の鳥のえじきとし、
あなたの聖徒たちの肉を野の獣に与え、
3 聖徒たちの血を、エルサレムの回りに、
水のように注ぎ出しました。
4 私たちは隣人のそしりとなり、
回りの者のあざけりとなり、
笑いぐさとなりました。
5 主よ。いつまででしょうか。
あなたは、いつまでもお怒りなのでしょうか。
* いつまで、あなたのねたみは
火のように燃えるのでしょうか。
6 どうか、あなたを知らない国々に、
御名を呼び求めない王国の上に、
あなたの激しい憤りを注ぎ出してください。
7 彼らはヤコブを食い尽くし、
その住む所を荒らしたからです。
8 先祖たちの答を、
9 私たちの救いの神よ。
御名の栄光のために、私たちを助けてください。
御名のために、
10 私たちを救い出し、私たちの罪をお赦しください。
なぜ、国々は、
「彼らの神はどこにいるのか。」と言うのでしょうか。
あなたのしもべたちの、流された血の復讐が、
私たちの目の前で、国々に思い知らされますように。
11 捕われ人のうめきが御前に届きますように。
あなたの偉大な力によって、
死に定められた人々を
生きながらえさせてください。
12 主よ。あなたをぞしした、そのそしりの七倍を、
私たちの隣人らの胸に返してください。
13 そうすれば、あなたの民、あなたの牧場の羊である
私たちは、
とこしえまでも、あなたに感謝し、
代々限りなくあなたの誉れを語りあげましょう。

{} X O ▲ ▲ ▲ {} □ ↑ @ □ △ × ↑ @ @

乙卯 ↔ 誉丸, 栄光

"→ 6節:御名を呼ぶ"はたかい王国

→ 9節: 御名の栄光のために
献けたい。

「神はどこにいるのか」

助けられたら
誉れを語りはする。



『主の怒り』

コ-ラス: 3, 7, 19

14

生かしてくだい

御顔を照り輝かせる。

御力を持ってる方

返

帰

強い右の手の人

A

御顔のとがめ



B

A

右の手

御名を呼び求める

帰って来て/見

「食い荒れる」

主が植えたぶどうの木

いつまで怒っておられるのか?

敵が来てほしい

80

指揮者のために。「さとしは、ゆりの花」の調べに合わせて。アサフの賛歌

1 イスラエルの牧者よ。聞いてください。
2 ヨセフを羊の群れのように導かれる方よ。
3 光を放ってください。
4 ケルビムの上の御座に着いておられる方よ。
5 エフライムとベニヤミンとマナセの前で、
6 御力を呼びさまし、
7 私たちを救うために来ててください。
8 神よ。私たちをもとに返し、
9 御顔を照り輝かせてください。
10 そうすれば、私たちは救われます。
11 万軍の神、主よ。
12 いつまで、あなたの民の祈りに
13 怒りを燃やしておられるのでしょうか。
14 あなたは彼らに涙のパンを食べさせ、
15 あふれる涙を飲ませられました。
16 あなたは、私たちを隣人らの争いの的とし、
17 私たちの敵は敵で、私たちをあざけています。
18 万軍の神よ。私たちをもとに返し、
19 御顔を照り輝かせてください。
20 そうすれば、私たちは救われます。

14 万軍の神よ。どうか、帰って来ててください。
15 天から目を注ぎ、よく見てください。
16 そして、このぶどうの木を育ててください。
17 また、あなたの右の手が植えた苗と、
18 ご自分のために強くされた枝とを。
19 それは火で焼かれ、切り倒されました。
20 彼らは、御顔のとがめによって、滅びるのです。
21 あなたの右の手の人の上に、御手が、
22 ご自分のため強くされた人の子の上に、御手が
23 ありますように。
24 そうすれば、私たちはあなたを裏切りません。
25 私たちを生かしてください。
26 私たちは御名を呼び求めます。
27 万軍の神、主よ。私たちをもとに返し、
28 御顔を照り輝かせてください。
29 そうすれば、私たちは救われます。

11 ぶどうの木は深く根を張り、地にはびこりました。
12 山々もその影におおわれ、
13 神の杉の木もその大枝におおわれました。
14 若枝をあつた川にまで伸ばしました。
15 なぜ、あなたは、石垣を破り、
16 道を行くすべての者に、
17 その実を摘み取らせなされるのですか。
18 林のいのししはこれを食い荒らし、
19 野に群がるものも、これを食べます。
20 万軍の神よ。どうか、帰って来ててください。
21 天から目を注ぎ、よく見てください。
22 そして、このぶどうの木を育ててください。
23 また、あなたの右の手が植えた苗と、
24 ご自分のために強くされた枝とを。
25 それは火で焼かれ、切り倒されました。
26 彼らは、御顔のとがめによって、滅びるのです。
27 あなたの右の手の人の上に、御手が、
28 ご自分のため強くされた人の子の上に、御手が
29 ありますように。
30 そうすれば、私たちはあなたを裏切りません。
31 私たちを生かしてください。
32 私たちは御名を呼び求めます。
33 万軍の神、主よ。私たちをもとに返し、
34 御顔を照り輝かせてください。
35 そうすれば、私たちは救われます。

御顔のとがめ?

- ・ 帰って来て
- ・ 国を追いついてぶどうの木を植えた
- ・ 人々が進入して食べている。

敵が来てほしい。

イスラエル: 羊の群れ
ぶどうの木

・ イエスの再建を求めている。

ご自分のために強くされた人の子?

右の手と御手

Penina

ヤコブ

満たす ← 従うなら ← 従わねば ← 神が満たしてくださる

申命記32章 (モーセの歌)

81

指揮者のために。ギテトの調べに
合わせて。アサフによる

満

イサエル

満たす

従

憎む者：敵

従

従わねば

満

私が主である。×神々

セラ

呼答：見出

B B

・おきてバース

祭：神の定め・挽

1 われらの力であられる神に喜び歌え。
2 ヤコブの神に喜び叫べ。
3 声高らかにほめ歌を歌え。
4 タンバリンを打ち鳴らせ。
5 六弦の琴に合せて、良い音の立琴をかき鳴らせ。
6 われらの祭りの日の、新月と満月に、
7 角笛を吹き鳴らせ。
8 それは、イスラエルのためのおきて、
9 ヤコブの神の定めである。
10 神が、エジプトの地に出て行かれたとき、
11 ヨセフの中に、それをあかしとして授けられた。
12 私は、まだ知らなかったことを聞いた。
13 「わたしは、彼の肩から重荷を取り除き、
14 彼の手を荷かごから離してやった。
15 あなたは苦しみのときに、呼び求め、
16 わたしは、あなたを助け出した。
17 わたしは、雷の隠れ場から、あなたに答え、
18 メリバの水のほとりで、あなたをためした。
19 聞け。わが民よ。
20 わたしは、あなたをたしなめよう。
21 イスラエルよ。よくわたしの言うことを聞け。
22 あなたは、外国の神を拝んではならない。
23 わたしが、あなたの神、主である。
24 わたしはあなたをエジプトの地から連れ上った。
25 あなたの口を大きくあけよ。
26 わたしが、それを満たそう。
27 しかしわが民は、わたしの声を聞かず、
28 イスラエルは、わたしに従わなかった。
29 それでわたしは、
30 彼らをかたくなな心のままに任せ、
31 自分たちのおもんばかりのままに歩かせた。
32 ああ、ただ、わが民がわたしに聞き従い、
33 イスラエルが、わたしの道を歩いたのだったら、
34 わたしはただちに、彼らの敵を征服し、
35 彼らの仇に、わたしの手を向けたのに。」
36 主を憎む者どもは、主にへつらっているが、
37 彼らの刑罰の時は永遠に続く。
38 しかし主は、最良の小麦を
39 イスラエルに食べさせる。
40 「わたしは岩の上にできる蜜づ、
41 あなたを満たせよう。」

↓

神様が満たしてくださる。→ 従うならば

↓

敵への刑罰

↓

エジプトの地

セラ

メリバの水

主を憎む者 ↔ イサエル
主を憎む者のおこなっている。



神が立ち上る。

不正なさばき

立 A 倒 B 救 B 立 A
 立ち上る者たち 知らない、悟らない者たち 弱い者たちのためのさばき 神が不正なさばきのために立つ。
 1 神は神の会衆の中に立つ。
 2 神は神々の真中で、さばきを下す。
 3 いつまでおまえたちは、不正なさばきを行ない、
 4 悪者どもの顔を立てるのか。
 5 弱い者とみなしごのためにさばき、
 6 悩む者と乏しい者の権利を認めよ。
 7 弱い者と貧しい者を助け出し、
 8 悪者どもの手から救い出せ。
 9 彼らは、知らない。また、悟らない。
 10 彼らは、暗やみの中を歩き回る。
 11 地の基は、ことごとく揺らいでいる。
 12 わたしは言った。「おまえたちは神々だ。
 13 おまえたちはみな、いと高き方の子らだ。
 14 にもかかわらず、おまえたちは、人のように死に、
 15 君主たちのひとりのように倒れよう。」
 16 神よ。立ち上がって、地をさばいてください。
 17 まことに、すべての国々は
 18 あなたが、ご自分のものとしておられます。

神々

セラ

会衆の中
神の真中

さばき
↓

悪者どもの顔が立ち上る。国々は神のものである。

→ 弱い者のためのさばき

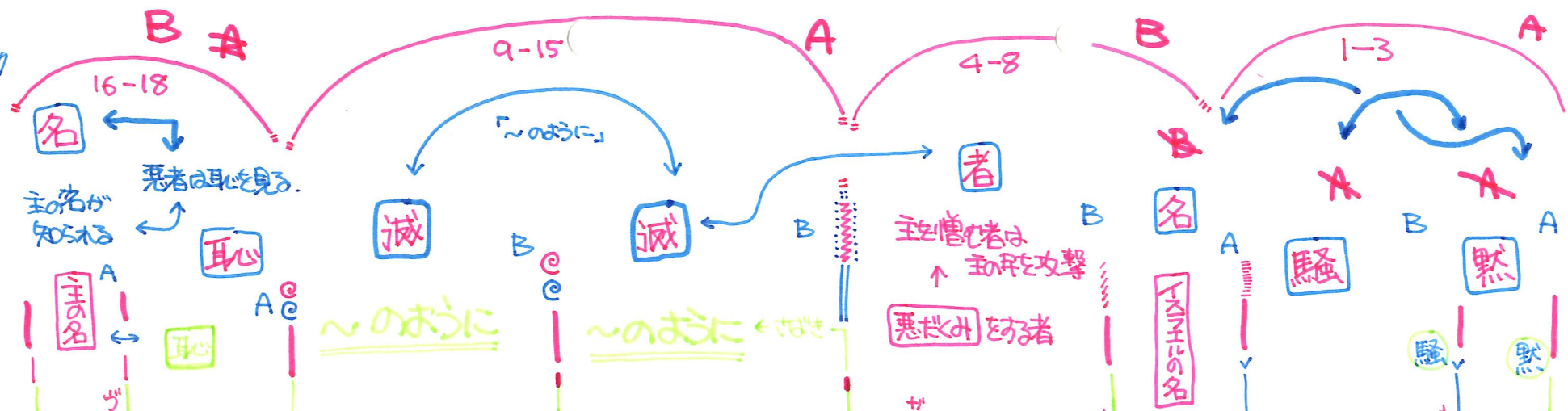
↑

→ 悪者どもの手から救い出す。

悪者は悟らない

↑

2009



83 歌。アサフの賛歌

1 神よ。沈黙を続けしないでください。
黙っていないでください。
神よ。じっとしないでください。
今、あなたの敵どもが立ち騒ぎ、
あなたを憎む者どもが頭をもたげています。
彼らは、あなたの民に対して
悪賢いばかりごとを巡らし、
あなたのかくまわれる者たちに
悪だくみをしています。
4 彼らは言っています。
「さあ、彼らの国を消し去って、
イスラエルの名が
もはや覚えられないようにしましょう。」

5 彼らは心一つにして悪だくみをし、
あなたに逆らって、契約を結んでいます。
それは、エドムの天幕の者たちとイシヌエム人、
モアブとハガル人、
7 ゲバルとアモン、それにアマレク、
ツロの住民といっしょにペリシテもです。
8 アッシリヤもまた、彼らにくみし、
彼らはロトの子らの腕となりました。
9 どうか彼らを、ミデヤンや、キシヨン川での
シセラとヤビンのようにしてください。
10 彼らは、エン・ドルで滅ぼされ、
土地の肥やしとなりました。

11 彼らの貴族らを、オレブとゼエブのように、
彼らの君主らをみな、
ゼバフとツアルムナのようにしてください。
12 彼らは言っています。
「神の牧場をわれわれのものとしてよう。」
13 わが神よ。彼らを
吹きころがされる枯れあざみのように、
風の前の、わらのようにしてください。
14 林を燃やす火のように、
山々を焼き尽くす炎のように、
15 そのように、あなたのはやてで、彼らを追い、
あなたのあらしで
彼らを恐れおののかせてください。
16 彼らの顔を恥で満たしてください。
主よ。彼らがあなたの御名を
慕い求めるようにしてください。

17 彼らが恥を見、いつまでも恐れおののきますように。
彼らにはずかしめを受け、滅びますように。
18 こうして彼らが知りますように。
その名、主であるあなたがただが、
全地の上にいますいと高き方であること。

主だ (2-3) ...

Psalm 4 and 2

人が主の名を知る。
→ イスラエルの名が忘れられる
ように、と言っている者。

黙っていないでください
→ 敵が騒いでいるから。

「契約を結んでいる悪者」

神

- ・万軍の主: 1, 3, 8 節 + 12 節
- ・主の住い 家

・セラ 4, 8 節

目を注ぎがけられている状態 → 主の家にいる。

(万軍の主 × 4
幸いなことは × 4

幸い

幸い

大庭に
住みか

慕い
大庭

幸いなことは

住みか
を見つけた

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

歌

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

家

怒

A

恵

赦

↑生

怒

怒

↑生

怒

A

恵

救

救

救

恵

1 主よ。あなたは、御国に恵みを施し、
 2 あなたは、御民の咎を赦し、
 3 彼らのすべての罪を、おおわれました。セラ
 4 あなたは、激しい怒りをことごとく取り去り、
 5 燃える御怒りを、押しとどめられました。
 6 われらの救いの神よ。
 7 どうか、私たちを生き返らせ、
 8 私たちに対する御怒りをやめてください。
 9 あなたは、いつまでも、
 10 私たちに対して怒っておられるのですか。
 11 代々に至るまで、
 12 あなたの御怒りを引き延ばされるのですか。
 13 あなたは、私たちを再び生かされないのですか。
 14 あなたの民があなたによって喜ぶために。
 15 主よ。私たちに、あなたの恵みを示し、
 16 あなたの救いを私たちに与えてください。
 17 私は、主であられる神の仰せを聞きたい。
 18 私は、御民と聖徒たちとに平和を告げ、
 19 彼らを再び愚かさには戻されたい。
 20 まことに御救いは主を恐れる者たちに近い。
 21 それは、栄光が私たちの国にとどまるためです。
 22 恵みとまこととは、互いに出会い、
 23 義と平和とは、互いに口づけしています。
 24 まことは地から生えいで、
 25 義は天から見おろしています。
 26 まことに、主は、良いものを下さるので、
 27 私たちの国は、その産物を生じます。
 28 義は、主の御前に先立って行き、
 29 主の足跡を道とします。

良いもの

民の救い
 ↳ 御国の完成
 怒を取り去る
 救いを与えてください。] 平和

2番: セラ

罪咎
 ↓
 赦

1 主よ。あなたの耳を傾けて、
私に答えてください。
2 私のたましいを守ってください。
私は神を恐れる者です。
わが神よ。どうかあなたに信頼す

わが神^{かみ}よ。どうかあなたに信頼^{しんらい}する
あなたのしもべを救^{しゅ}ってください。救^{すく}ってください
3 主^{しゅ}よ。私^{わたし}をあわれんでください。
私^{わたし}は一日^{いちにち}中^{ちゅう}あなたに呼^よばわつていますから。呼^よ
4 あなたのしもべのたましいを喜^{よろこ}ばせてください。
1) あね

主よ。私のたましいはあなたを仰いでいますから
5 主よ。まことにあなたは
いづくしみ深く、赦しに富み、**とび**
あなたを呼び求めるすべての者に、
恵み豊かであられます。

私の願いの声を心に留めてください。
私は苦難の日にあなたを呼び求めます。
あなたが答えてくださるからです。

8 主よ。神々のうちで、あなたに並ぶ者はなく、
あなたのみわざに比ぶべきものはありません。

9 主よ。あなたが造られたすべての国々は
あなたの御前に来て、伏し拝み、**御前**
あなたの御名をあがめましょ。 11 和歌

10 まことに、あなたはだいなる方、
 奇しいわざを行なわれる方です。
 あなただけが神です。

11 主よ。あなたの道を私に教えてください。

12 わが神、主よ。私は心を尽くしてあなたに感謝し、
とこしえまでも、あなたの御名をあがめましよう。

1) 神よ。高ぶる者どもは私に逆らって立ち

横暴な者の群れは私のいのちを求めます。
 彼らは、あなたを自分の前に置いていません。
 15) しかし主よ、あなたは、あわれみ深く、
 情け深い神。

怒るのにおそく、恵みとまことに富んでおられます。

16 私に御顔^{1)みかお}を向け、私をあわれんでください。

2) あなたのしもべに御力^{3)みから}を与え、
あなたのはしための子をお救いください。救^{4)すく}ってください。

17 私に、いつくしみのしるしを行^{おこ}な^なってください
 そうすれば、私を憎^{にく}む者らは見^みて、
 恥^{はじ}を受けるでしよう。
 まことに主^きよ。
 あなたは私を助^{たす}け、私を慰^{なぐさ}めてくださいます。

おれおれ深い、怒るのにやうい

主の侍略

みさか

道·步(真理)

→ 主を自分の前においていない

後半には敵が出てくる.

前半: 外を堅く立てる。
後半: 中を堅く立てる。

基

・基を置合
1) 主は聖なる山に基を置かれる。

主の住い
2) 主は、ヤコブのすべての住まいにまさって、

シオン
シオンのもろもろの門を愛される。

神の都
3) 神の都よ。あなたについては、

すばらしいことが語られている。

4) わたしはラハブとバビロンを

数に余る
わたしを知っている者の数に入れよう。

見よ。ペリシテとツロ、それにクシュもともに。

これらをもここで生まれた者として。」

シオン
5) しかし、シオンについては、こう言われる。

「だれもかれもが、ここで生まれた。」と。

こうして、いと高き方ご自身が

シオンを堅くお建てになる。

登録
6) 主が国々の民を登録されるとき、

「この民はここで生まれた。」としるされる。

踊りながら歌う者は、

「私の泉はことごとく、あなたにある。」と言おう。

・基を置かれる。
・シオンを堅く建てる。

シオン

ここで生まれた

ここで生まれた

・ここで生まれた

・ここで生まれた

・ここで生まれた

セラ

シオン

セラ

シオン

シオン

「ここで生まれた」

歌。コラの子たちの賛歌。指揮者のため。マハラテ・レアノテの調べに合わせ。エズラフ人へマンのマスキール

御前

御前・呼

1 主、私の救いの神。
2 私は、あなたは、御前にいます。
3 私の祈りがあなたの御前に届きますように。
4 どうか、あなたの耳を私の叫びに傾けてください。

穴

「見放された」

見放
墓の中

親友

怒・悩

御手から断ち切られた。
両手を差し伸ばしている。

A 悩

悩 呼

奇しいわ

9 私、私は目ごとあなたを呼び求めています。
10 あなたは死んだ人のために奇しいわざを行なわれるのでしょうか。
11 亡霊が起き上がって、
12 あなたをほめたたえるのでしょうか。
13 セラ

墓

墓

奇しいわ

11 あなたの恵みが墓の中で宣べられましょうか、
12 あなたの真実が滅びの中で。
13 やみの中、
14 あなたの義が忘却の地で。
15 あなたの義が忘却の地で。
16 セラ

祈・叫

拒絶している。

A 悩・恐

怒

怒

友達・恐

友

17 私、あなたは私から愛する者や友を遠ざけてしまわれました。
18 私の知人たちは暗い所にいます。
19 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
20 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
21 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
22 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
23 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
24 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
25 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
26 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
27 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
28 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
29 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
30 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
31 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
32 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
33 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
34 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
35 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
36 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
37 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
38 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
39 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
40 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
41 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
42 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
43 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
44 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
45 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
46 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
47 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
48 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
49 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
50 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
51 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
52 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
53 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
54 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
55 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
56 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
57 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
58 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
59 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
60 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
61 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
62 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
63 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
64 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
65 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
66 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
67 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
68 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
69 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
70 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
71 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
72 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
73 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
74 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
75 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
76 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
77 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
78 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
79 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
80 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
81 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
82 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
83 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
84 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
85 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
86 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
87 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
88 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
89 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
90 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
91 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
92 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
93 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
94 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
95 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
96 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
97 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
98 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
99 あなたは燃える怒りが私の上を越え、
100 あなたは燃える怒りが私の上を越え、

忘 → 穴墓

穴/墓 = 忘却の地

見放されている

たましい
拒絶している。

恵みを歌う。

(主がすべてを治める) (奈はざ)

高

民に王をたてよ (高を上げる)

1 私は、主の恵みを、とこしえに歌います。
あなたの真実を代々限りなく私の口で知らせます。
2 私はこう言います。
「御恵みは、とこしえに建てられ、
あなたは、その真実を天に高く立てられる。」と。

3 「わたしは、わたしの選んだ者と契約を結び、
わたしのしもべダビデに誓っている。」
わたしは、おまえのすえを、とこしえに高く立て、
おまえの王座を代々限りなく建てる。」
セラ

4 わたしは、おまえのすえを、とこしえに高く立て、
おまえの王座を代々限りなく建てる。」
セラ
5 王よ。天は、あなたの奇しいわざを
ほめたたえます。
また、聖徒たちの集まりで、あなたの真実をも。

主

6 まことに、雲の上では
だれが主と並びえましよう。
力ある者の子らの中で
だれが主の手に似ているでしょう。
7 主は、聖徒たちのついでに大いに恐れられている神。
主の回りのすべての者にまさって
恐れられている方です。

取り囲み

8 万軍の神、主。万軍の神
だれが、あなたのように力がありましよう。
主よ。あなたの真実はあなたを取り囲んでいます。
9 あなたは海の高まりを治めておられます。
その波がさかまくるとき、
あなたはそれを静められます。
10 あなたご自身が、
ラハブを殺された者のように打ち砕き、
あなたの敵を力ある御腕によって散らされました。

打ち砕き

11 天はあなたのもの、地もあなたのもの。
世界とそれを満たすものは、
あなたがその基を据えられました。
12 北と南、これらをあなたが造られました。
タボルとヘルモンは
あなたの御名を高らかに歌います。
13 あなたは力ある腕を持っておられます。
あなたの御手は強く、
あなたの右の手は高く上げられています。

14 義と公正は、あなたの王座の基。
恵みとまことは、御前に先立ちます。
15 幸いなことよ、喜びの叫びを知る民は。
主よ。彼らは、あなたの御顔の光の中を歩みます。
16 彼らは、あなたの御名をいつも喜び、
あなたの義によって、高く上げられます。
17 あなたが彼らの力の光榮であり、
あなたのご恩寵によって、
私たちの角が高く上げられているからです。
18 私たちの盾は主のもの、
イスラエルの聖なる方のもだからです。

高上

主が王をたてよ

契約。
高を上げる。
とこしえに。

(主が王を立てる)

御恵：真実

御名を高らかに歌う。

恵み：真実

王の王である王

恵王
王捨

右の手

右の手

仇の右の手

永遠

永遠

「ダビデに誓ったこと」

とこしえ：子孫：ダビデ

→ 守るために命をささげる。

契

契

誓

誓

セラ

45都

主の王座

赤い王様

神は恵み・真の神

"A House for My Name"

24 JUL 2022

万軍

書

(心に留めてください)

(申はとこしえの王 = 恵みと真実)

心留: 誓: とい

恵みを与える

(と し り)

(1-37)
(38-52)

- ・おみの力から救い出せましょ
- ・心に留めてください

いま

怒: 打: 汚: 耳心
とい

タセデに誓った。

敵

怒

↑

★とこしえまでも

敵

とい

誓

心に留めてください

誓

心に留めてください

(空しい人の子)

怒

いほど?

★

怒

★

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↓

52 ほむべきかな

主

とこしえまでも

とこしえ

51 主よ。あなたの敵どもは、そのようにそしり、

そのように、あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたのため、あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

あなたに油そそがれた者の足跡を

そしりました。

アーメン。アーメン。

人の心と世

「といを受けいる」

主が高く上げらる

聖は未だ者: 高く上げらる

敵の石の手: 高く上げらる

憤

身を隠すになる

罪咎の罰

↑

↑

怒

1-2a (?)

右の手が高く上げられて